



オーケストラが  
JEANS やってくる CONCERT  
HALL

# 倉敷管弦楽団

2025年1月26日(日) 14時



見島市民交流センター  
ジーンズホール

主催 見島市民交流センター 後援 倉敷市 見島商工会議所 山陽新聞社





## Program

指揮 菊池 東 管弦楽 倉敷管弦楽団

### フンパーディンク／「ヘンゼルとグレーテル」序曲

ドイツの作曲家エンゲルベルト・フンパーディンク(1854年～1921年)によって作曲されました。グリム童話を家族向けにオペラにしたもので、1893年に初演され、今ではクリスマスに上演されるオペラとして知られています。

あらすじは、森で迷った兄弟がお菓子の家に閉じ込められ、二人で勇気と知恵を合わせて魔女に立ち向かうといったものです。この短い序曲の中には、オペラ中の名場面の音楽が沢山散りばめられています。

### ベートーヴェン／交響曲第7番より第1、2楽章

ベートーヴェン(1770～1827)の交響曲第7番は、その名の通りベートーヴェンの作曲した7番目の交響曲で、1812年、ベートーヴェンが41歳のときの作品です。

ベートーヴェンの有名な交響曲の中で唯一タイトルがありません。知名度こそ「運命」「田園」「第九」には負けますが、ベートーヴェンの代表作として数えることが出来る作品です。リズムが印象に残る曲で音楽の展開がはやく、クラシックファン以外でも「聴きやすい」音楽とも言われています。

～休憩～


### ビゼー／「アルルの女」組曲第2番

ジョルジュ・ビゼー(1838年～1875年)の組曲「アルルの女」は、1872年に作曲されました。ビゼーの作品の中では、歌劇「カルメン」と並んで有名な曲です。元々は合唱も含む27曲から成っているのですが、組曲第2番は、ビゼーの死後、友人のギローが「アルルの女」や他のビゼーの作品から4曲を選んだものです。

音楽はプロヴァンス地方に伝わるメロディを使い、民族的で牧歌的な雰囲気を出しています。

### エルガー／「威風堂々」

「威風堂々」は、エルガー(1857年～1934年)が作曲した5つのマーチのうちの第1番で、1901年に完成しました。当時のイギリスは世界中に植民地を持ち、全世界の1/4の領土を占める大英帝国のもっとも栄華を極めていた時代でした。イギリスの帝国主義時代を象徴する楽曲として知られ、荘厳で壮大なオーケストレーションが特徴です。



## 指揮 菊池 東 (Kikuchi To)



5歳よりヴァイオリンを始める。広島大学工学部醸酵工学科卒。大学時代より指揮者としてクラブ活動続ける傍ら、広島市民交響楽団(現広島交響楽団)の団員としてオーケストラ活動を始める。

大学卒業後東京都民交響楽団でサブコンサートマスターを経験し1973年帰国。1974年、倉敷管弦楽団を設立。

2006年・2010年に「日本人音楽家のためのオーケストラワークショップ」に参加。ブルガリアホールにおいてブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーを指揮する。1999年より倉敷音楽協会会長を務め児童音楽コンクールを毎年開催。2006年倉敷市文化章受章。

## 倉敷管弦楽団



倉敷管弦楽団は、「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に1974年に設立。昨年12月に創立50周年を迎えた。

設立以来、文化都市倉敷市にふさわしい熱気に満ちた楽団として地域に根差した活動を地道に行っており、1982年には岡山県文化功労章、1985年には倉敷市文化連盟賞、2004年には岡山県三木記念助成金、2006年には福武文化奨励賞を受賞。

現在も岡山県南を中心とした80名の団員により、年に一度の定期公演と倉敷音楽祭演奏会を活動軸に、クラシックからポピュラー音楽まで、幅広いジャンルの演奏に取り組んでいる。本日の演奏会では55名の団員により演奏。

第1ヴァイオリン	下山泉	荒木加英子	藤田真理	丸山博樹	三宅郁子	森安鋭子
	渡邊陽子	大西ちひろ				
第2ヴァイオリン	小林佐知	奥山晃子	串部美幸	中川雅美	林寛子	平松綾
ヴィオラ	松江靖子	赤塚佳代	片山佳央理	中塚祐子	金子剛	
チェロ	松江雄二	大西智幸	鎌田奈那	黒田正典	周藤典子	辻田順子
コントラバス	糸島早苗	三宅七海	本屋敷勝信			
フルート	河村香織	重松里奈	月本裕子			
オーボエ	羽井佐浩気	吉田容子				
クラリネット	西島弥生	福島恭子				
ファゴット	浅野絢子	夏目和歩	ヘンリー・レビット			
ホルン	宇野敏生	岡田瑠璃	土屋日奈子	太河原千恵		
トランペット	原田宗範	山口博子	山口裕美	山口裕司		
トロンボーン	樋口仁	松田英一郎	曾布川拓也			
チューバ	浅野尚行					
打楽器	関暢子	日玉裕	難波江理奈	宮内奈美		
サクソ	山口徹					

司会 高月 弘子 (エフエムくらしき パーソナリティ)

